

# 会報誌 「しほこの樹」

## 第11号



平成 27年度 第19 回 村松志保子助産師顕彰会 式典

会場：墨田区役所 「リバーサイドホール」  
日時：平成27年7月11日土曜日



ご来賓



受賞者席



祝 ♥ 授賞式

受賞者の皆さまと一緒に



桶谷式研鑽会ご祝辞



ろうけん秋光園ご祝辞



山本墨田区長ご祝辞



岡本日本助産師会会長ご祝辞



授賞式の様子



南野顕彰会会長ご挨拶

平成27年度 第19回 村松志保子賞等表彰者

村松志保子賞(9名) (敬称略、順位不同)

|         |                     |                      |
|---------|---------------------|----------------------|
| 松島 茂    | 感謝状(1名)             | (村松志保子顕彰会活動への支援) 東京都 |
| 特別賞(2名) |                     |                      |
| 長濱博子    | (地域母子保健支援への貢献) 東京都  |                      |
| 岡田啓子    | (地域母子保健支援への貢献) 神奈川県 |                      |
| 荻原悦子    | (国際母子保健活動への貢献) 兵庫県  |                      |
| 富田江里子   | (助産師教育への貢献) 三重県     |                      |
| 田中千登世   | (地域母子保健支援への貢献) 北海道  |                      |
| 岡田浩子    | (地域母子保健支援への貢献) 北海道  |                      |
| 三浦チエ    | (地域母子保健支援への貢献) 岡山県  |                      |
| 小松治子    | (地域母子保健支援への貢献) 新潟県  |                      |
| 半井禮子    | (母乳育児支援活動への貢献) 高知県  |                      |
|         | (母乳育児支援活動への貢献) 大阪府  |                      |

平成27年度第19回  
村松志保子賞等表彰式

記念講演(要約)

【村松志保子と助産師顕彰会】

村松志保子は、明治・大正時代に医術の研鑽を深め産婆となり産婆育成に尽力し母子のために保健福祉的な慈善活動を展開した。当会では、助産師（産婆）として博愛精神に基づいた福祉活動や女性の地位向上のために活躍した村松志保子の功績を顕彰し、その精神と志に根ざした活動を現在実施している助産師あるいは、過去に活躍した助産師（産婆）を表彰しています。そして、村松志保子の志を継承した活動を通じて地域社会に貢献することを目指しています。

記念講演1 「志保子が住んだ明治の本所というところ」

前墨田区立図書館・文化財調査員

松島茂 様

本所は、墨田区南半分のところにあたり、本所の9割が旗本であった。  
江戸の大火の時は、江戸中に死体があり、両国橋から回向院に運んだとのこと。  
本所の武家の大名は新政府に召し上げられ、藩知事となったので別邸が多くあった。  
伊達氏、藤堂家、京極家、沼田藩（村松志保子の産婆学校があった場所）等である。  
森鷗外等医師を目指す人が大名を頼ってきたことが多く、また、芥川龍之介も在住していた。  
幸田兄弟も優秀で、幸田露伴は中村寅次郎の援助で作家になったという。  
飾り職人に弟子入りしたシャープの社長は墨田区出身であり、平らな土地のためガラス工場や石鹸工場、紡績工場等、工場が進出し、農村から仕事を求め、本所にやってくる男女も多くいた。  
その本所で、村松志保子が女性の教育や産婆教育、産院開業、慈善活動をしたのである。  
これからもまだまだ、助産師は、女性支援・母子支援に活躍していただきたい。



記念講演2 「土岐の殿様」

沼田市教育委員会 高木 様

村松志保子の父は、沼田藩御典医であり、藩主土岐家の江戸藩邸で志保子は誕生した。  
土岐の殿様は、岐阜県を作った人であるが、産まれてすぐに児を殺していた時代に、  
土岐の殿様が、児の支援をしていたとのことである。  
現代の少子化の時代に、これからの子どものために、助産師の活躍が必要である。



記念講演3 「助産師として大切にしてきたこと」

助産所 ぼえむ 岡田浩子 様

大切にしてきたことの始めは、医師に礼を尽くすことである。  
助産師になって41年、開業して30年。医師にまず妊婦に対して意見を聞いてから妊婦を引き受けることにし、無事出産したら必ず報告をしている。  
次に、母親に寄り添うことである。  
母乳育児も母親の負担にならないように勧め、助産院の名前である“母笑夢”のように、  
母親が子育てに悩まないように笑って育児ができるように、どんな相談にも乗ることにしている。  
三番目に技術を磨くことである。  
20年の病院勤務で、助産師としての基本、大切なことを学んだ。  
そして、乳管開通法を学び、自然分娩で幸せな出産ができたら、母乳が必ず出ることも実感している。  
現在もいろいろな学びに励んでおり、助産師になって本当によかったと思っている。



受賞者の方と記念撮影のひとこま





# 安産福運大祭「母子と助産師の日」 記念イベントのご報告



平成28年3月8日（火曜日）

“日本で唯一の産婆乳母の祖神” 愛媛県に所在する高忍日賣神社にて開催

## プログラム

- ◆午前 1. 座談会 ～ 助産師の未来を語ろう!! ～  
 テーマ：「開業の魅力を共有しませんか？」  
 挨拶：後藤正宜（高忍日賣神社宮司）  
 講演：岡本喜代子（日本助産師会会長）  
 座長：黒田優子（愛媛県助産師会会長）  
 話題提供者：鈴木佳奈子（香川県） 小林智子（岡山県）  
 岡田啓子（神奈川県） 金寿子（群馬県）  
 アドバイザー：南野知恵子（顕彰会会長/前参議院議員/日本看護連盟顧問）
2. 楽しくみんなで親子遊び：子育て応援遊里（岡山県）  
 3. 助産師何でも相談（妊娠出産・不妊・母乳育児・思春期・更年期など）
- ◆昼食：交流会  
 ◆午後：安産福運大祭 斎行：お祈りとお話（宮司の後藤正宜様）  
 記念写真撮影

主催：村松志保子助産師顕彰会  
 共催：愛媛県助産師会  
 後援：高忍日賣神社



## 午前 座談会



黒田座長と南野先生・岡本先生



後藤宮司さま



話題提供者の皆さま



終始熱心かつ和やかな会場の雰囲気です。





## 座談会

### ～ 助産師の未来を語ろう!! ～ 「開業の魅力を共有しませんか？」

座談会の話題提供者（内容要約）敬称略



#### 鈴木佳奈子 香川県

夫の地元の香川県に移住してきて途方に暮れているなか、その中から引き上げてくれたのが、地元の助産師の先輩たちでした。助産師会に入って「地域で仕事をしたい」といったときに、快く受け入れてくださって、お母さん方達のところへ訪問にでかけるといって仕事を始めました。その時に受け入れてもらった助産師仲間のつながりが、私にとって大きな支えになり、今もたくさんの先輩たちに支えられています。

去年の秋、自宅に玄関別の一部屋をもって保健指導で開業しました。母乳育児支援、妊婦相談、産後ケア、各対象向け教室等計画し、これから具体的にしていこうと決まっています。

「子育ては、ゆるく、楽しく、頑張りすぎず」をポリシーとし、いつでも助産師がここにいるから、相談しに来てねというメッセージを常に発信していこうと思っています。

命の講座、看護師、助産学生の講義などの仕事をしていても「助産師でよかったなあ」と思うことの連続で、日々やりがいを感じてやっています。

#### 小林智子 岡山県

私は、岡山市や県からの委託事業に従事したり、産婦人科医院での業務等を行う中で、2005年保健指導型の「ゆうり助産院」を自宅の一室を解放するという形で、後輩の助産師と二人で開業しました。

3年後にはその後輩は転居しましたが、チャイルドマインダーや子育て経験のある友達と一緒に2009年に子育て支援を目的に任意団体の「子育て応援ゆうり」を立ち上げました。その団体で“パパとママの準備室”“退院直後から3か月までの赤ちゃんの託児”“メール相談”“二人目を迎えるための教室”“ノーバディパーフェクト”等を補助金を得ながら活動してきました。また、講師の資格や何らかの専門家である友人や知り合ったお母さんたちに多種多様な子育て応援の講座を開催してもらっています。

そして、去年の11月に、出産を扱う有床の助産院としてリニューアル開業しました。医療機関との連携がスムーズにできるか不安ですし、マニュアルも作成中で課題はたくさんありますが、いままで積み重ねてきたことがここでつぼみになっているような印象があります。

これからも大先輩のご指導をたまわりながらつぼみが花開くように進んでいきたいと思っています。



鈴木さま 小林さま 岡田さま 金さま

#### 岡田啓子 神奈川県

現在は、保健指導で開業して、新生児訪問・思春期健康講座や両親学級の講師・企業の育児相談等を行っています。18年くらい前に主婦生活から復帰して、助産師としての仕事をいろいろ経験することによって、最終的に保健指導が向いているのではないかと考えています。やってきたことに無駄はなく、考えてみるとすべてが「肥やし」となってきたように思います。また、復帰当時に思春期教育を学ぶ機会があり、相手を大切にすることが大切とか自尊心とか、感謝とか、自分らしく生きることとか、人間としての基本を学ぶことができたということが私には大きかったと思います。18年間で、いろんな仲間ができて、人とのつながりがとても大事ななあと思っています。これも何かのご縁だと思っていますが、皆様この縁を大切にしてください。

私も皆さんとの出会いを大切にこれからも頑張っていきたいと思っています。

#### 金 寿子 群馬県

私はいま出張形態での開業をしています。日本助産師会の開業助産師長期研修課程で1年間学び、地域でお母さんたちはいろいろな不安や悩みを抱えながら子育てしている現実を見、地域の助産師は女性のより身近でいろいろな相談を受ける存在であることを知りました。そして、お母さんや赤ちゃんの将来にまで影響を及ぼすことを想像しながらその時の指導やケアをしないとといけないという責任感の重さを学びました。

お母さんには産む力、赤ちゃんには生まれる力があり、子育てもお母さんには育てる力、赤ちゃんには育つ力があるということを地域の活動を通して日々感じています。そしてその力のちょっとだけ後押しできればと思います。

知識技術の研鑽や仲間同士の情報交換をし、変化するニーズに応えられるよう、また行政と顔の見える関係で連携をとっていく必要があると思っています。

# 安産福運大祭（午後）



“安産福運大祭” 斎行開始前の穏やかな境内

ことしの大祭の際に、宮司さまの御好意（はからい？）で高忍日賣神社の秘宝である掛け軸を初公開していただきました。とてもありがたいことです。この掛け軸は、毎年3月8日だけ公開して下さることです。その素晴らしい絵は厳かであり、また自然とパワーを感じました。皆さま是非実物を見に安産福運大祭へ！！



高忍日賣神社に古来から保存される産婆の掛け軸



高忍日賣神社「母子と助産師の碑」



高忍日賣神社（たかおしひめじんじや）



仲間が増えました！



内門さま

山崎さま

## 安産福運大祭「母子と助産師の日」に参加して 岡山県 山崎洋子

三月八日が近づくと、長谷川さんから「今年も行きましょう♪」とお誘いがあるので、今年も、内門さんと一緒に瀬戸大橋を渡って参加しました。なんとなく行きたくなる雰囲気です。

そこは若い助産師も先輩助産師も楽しく語れる場所です。座談会も楽しみの一つです。今自分が子ども・女性・家族にかかわっている今の助産師としての自分の在り方、これからの考え方を探れる場所かもしれません。

そして現在にも誇れる産婆界のリーダー松村志保子に思いをはせ、同じ思いの仲間年に一度会える場所でもあります。

宮司後藤様のお話、安産福運大祭の斎行は、厳粛で、松村志保子さんの偉功を偲ぶ時間でもありました。

南野知恵子先生と岡本先生お二人が、毎年参加されているので、また来年も仲間を誘って参加したいと思います。

## アンケートのまとめ

参加者は、30代が約4割と最も多く幼稚園のママたちや若い助産師で、次に20代が2割と学生さんも多く参加してくれました。看護師さんや、孫育て中の祖母さんもきていただいていたようです。

開業の様々な活動や形態があることを知り、開業の魅力を感じたり、助産師の仕事の魅力を再発見し、自身の仕事に対して見直す機会にもなり、自身の今後に夢や期待を持ってエネルギーを得たと記載された方が多かったです。

今後も、今回のような親しく楽しい雰囲気の会を期待されている方が多くみられました。

# 安産福運大祭終了後の記念撮影

みなさん♪  
来年も3月8日に  
松山でお会い  
しましょう！

これまで、最高の  
参加者数77名でした！  
地元の方や学生さん、  
若い助産師、全国の  
助産師仲間の皆さま  
多くの方に来ていた  
だきました♡



私たち、助産師は、  
出産や子ども虐待、大災害等で失われた母子の生命に対して、深い哀悼の意を表します。  
また、母子とそのご家族や女性のリプロヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の支援活動を生涯実  
践した先輩助産師の遺功を偲び、ここに、敬意と感謝の意を捧げます。  
世界中の全ての母子と家族に幸福が、また世界中に平和が到来することを、心から願っています。  
私たちは、毎年、3月8日を「母子と助産師の日」と定め、この地に集い、祈りを捧げたいと願っています。

## お知らせ

### 平成28年度行事日程について

毎年、総会にて当年度の行事日程を決めておりましたが、お墓参りにつきましては会員の皆様にお知らせ  
できず、理事が主に行っておりました。より多くの方々に参拝していただきたく、平成28年度行事になりま  
すが、前もってお知らせすることになりました。

### お墓参り日程

平成29年1月21日（土曜日）JR日暮里駅南口11時集合

- ①村松志保子先生のお墓参り
- ②回向院
- ③柘植アイ先生のお墓参り（今年度初の試み）

\*日程の変更の可能性があります。

参加ご希望の方は、一週間前に下記顕彰会事務局まで確認のお問い合わせをお願いいたします。

みなさま♪  
志保子ゆかりの  
地を一緒に  
散策しませんか  
♪

### お願い

村松志保子助産師顕彰会は、会費や寄付金などで  
運営しています。

より充実した活動を継続していくために、当会  
の趣旨や活動にご賛同して頂ける会員やご支援の寄付  
金を広く募っています。

現在ご活躍されている助産師や歴代のお産婆さん  
などの情報もご連絡をお待ちしております。

また、会報誌「しほこの樹」へのお便りも  
ぜひお待ちしております。



### 「村松志保子助産師顕彰会」事務局

#### 【お問い合わせ先・入会等について】

「村松志保子助産師顕彰会」事務局

住所:〒192-0914 東京都八王子市片倉町1181-5

電話・FAX : 042-635-7117 (岡本喜代子)

Eメール : [otafuku-o@nifty.com.jp](mailto:otafuku-o@nifty.com.jp)

#### 【会費等振込先】

□ 座 名:村松志保子助産師顕彰会

□ 座番号:郵便貯金 総合通帳

記 号 : ( 10040 ) 番 号 : ( 97136531 )

入会金 : 5,000円 年会費 : 5,000円